

研修NO.

17-13

経営トップセミナーI ～継続的にイノベーションを生み出すための条件とは!～ イノベーションを生み出す企業風土

成熟社会となった今、「イノベーション」による高付加価値な財・サービスを創出し、生産性を向上させることが企業の維持発展に不可欠と言えます。では、一体「イノベーション」はどうやって生み出されるのでしょうか？

「イノベーション」を生み出す要因に「企業風土」があると言われます。「企業風土」とは、企業内の固有の慣習や精神的なあり方などを指す表現とされますが、明確な定義づけが難しく、その捉え方も様々ではないでしょうか。「イノベーション」を継続的に生み出す企業となるためには、この曖昧に捉えられがちな「企業風土」を見える化し、創造的なアイデアをビジネスとして育てる仕組み（システム）として、自社内で共有していく必要があると言えます。「イノベーション」を生み出す可能性を高めるための条件・仕組みについて、グロービス経営大学院 教授 佐藤 剛 氏から事例を交えながら丁寧に示していただきます。

研修のねらい

成熟社会となった今、イノベーションによる高付加価値な財・サービスを創出し、生産性を向上させることが企業の維持発展に不可欠です。

本セミナーでは、イノベーションに関わる各種要因を分析し、どのような企業風土がイノベーションを生み出すことができるのかを、事例も交えながら理解し、自社の企業風土変革のヒント、秘訣を学びます。

このような方におすすめ

- ★イノベーションを生み出す要因を学びたい方
- ★自社の企業風土について再考されたい方
- ★自社の企業風土の変革に取り組みたいとお考えの方

対象者 経営者・経営幹部・管理者等

実施期間 全1日間（6時間）
2017年7月13日（木）
定員 40名
受講料 16,000円（税込）

※宿泊費は含まれません。
※お申込みが多数の場合、定員を変更させていただく場合がございます。

研修カリキュラム

日程	内容
7/13(木) 9:40～16:40	<ol style="list-style-type: none"> 1. イノベーションとはどのような行為か？ 「イノベーション」を定義してから方法論を考える 2. イノベーションを生み出す イノベーションは生まれるのではなく、生み出すもの、そのための要点を考える 3. 明日から始めるための視点 事例から完成形ではなく、イノベーションのための最初の一步を学ぶ ※セミナーはインタラクティブにすすめる予定です。

※カリキュラムは変更となる場合がございます。

講師紹介

▶佐藤 剛（さとう たけし）

グロービス経営大学院教授

慶応義塾大学大学院経営管理科博士課程修了 博士（経営学）

中小企業大学校東京校中小企業診断士養成講座講師、東洋大学大学院経営研究科非常勤講師。企業の役員へのコーチングや人事制度設計および運用支援、組織改革のためのアクションリサーチの実施を行っている。また、病院の経営改善支援も行うほか、保育・介護系会社の監査役も務める。

著書としては『実況 組織マネジメント教室』、『チーム思考』、『イノベーション創発論』、『組織自律力』などがある。